

スクエア型ドッキングフォトフレーム JF-FOTOBIT
取扱説明書

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご利用の前に、本書に記載されている内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- ◎製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
 - ◎本書の内容は予告なく変更することがあります。
 - ◎本書の著作権は株式会社フォースメディアにあります。
 - ◎本書の一部または全部を無断で使用・複製・転載することを禁止します。
 - ◎本書に掲載されている会社名や製品名は、各社の商標および登録商標であるものがあります。
 - ◎製品の使用により発生した損害は負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 株式会社フォースメディア
東京都品川区東五反田1-13-12 いちご五反田ビル4F
Copyright (C) Force Media, Inc.

- 取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねております。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

安全上の注意

この「安全上の注意」には、本製品をご使用になるお客様や他の人々の身体への危害や財産への損害を未然に防止するために、守って頂きたい事項を以下の三つ区分に分けて記載してあります。

	危険	「死亡する」または「重傷を負う」ことに直結する危険性が想定されます。
	警告	「死亡する」または「重傷を負う」ことに繋がる可能性が想定されます。
	注意	「障害を負う」または「物理的損害が発生する」ことが想定されます。

「重傷」とは、けが・やけど・感電・中毒などで後遺症をもたらすもの、または治療入院や長期の通院を要するものを指します。

「障害」とは、けが・やけど・感電などで治療入院や長期の通院を要さないものを指します。

「物理的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる損害を指します。

「免責事項について」

- ・指定された用途以外の使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・故意または過失を問わずお客様および第三者の誤用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・天災または人災を問わず異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

「図記号の説明」

	禁止 ：行ってはいけない内容を示しています。
	強制 ：必ず実行して頂く内容を示しています。

⚠ 危険

- 高所に取り付ける場合、安定した土台を使用し、落下に注意して取り付けてください。
- クギが付属しています。先端がとがっていますので取り扱いに注意してください。
- クギを打ち付ける際、誤って手や指などを打ち付けないよう慎重に作業してください。
- 小さな部品が含まれています。乳幼児の手の届くところに放置しないでください。

⚠ 警告

- 落下させたり、投げつけたりするなど、強い衝撃を与えることはしないでください。破損の原因となる恐れがあります。
- 本製品を分解したり、改造したり、お客様ご自身で修理したりしないでください。本製品を乳幼児の手の届く場所に放置しないでください。飲み込んで窒息するなど、思わぬ事故や障害の原因になる恐れがあります。
- 本製品は屋内専用です。屋外で使用しないで下さい。
- 壁への取り付けはしっかりと行い、定期的に取り付け状態を確認してください。

⚠ 注意

- 直射日光などで高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やホコリの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因になる恐れがあります。
- 本製品が汚れたときは、柔らかい布などで乾拭きしてください。家庭用洗剤、ベンジン、アルコールなどの用材は使用しないでください。変色、変形の原因になる恐れがあります。
- 本製品の状態に異常が発生していないかどうか、定期的を確認して下さい。
- 破損した場合は使用しないでください。

主な特長

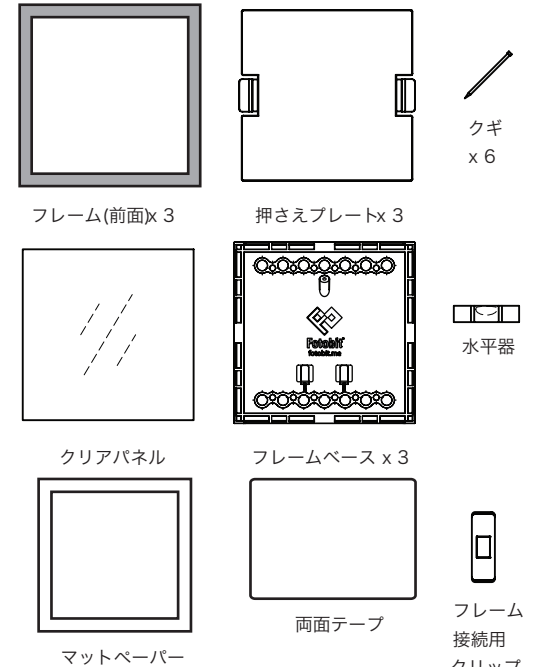
- ドッキングフレーム構造でイメージーションを広げ、まるで写真をコラージュしたように壁を飾れます。
- スクエア型のフォトフレームはいろいろな壁にマッチします。
- フレームを水平に取り付けるための水平器を同梱しています。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理または交換をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
 - お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、弊社カスタマーサポートにご相談ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、弊社カスタマーサポートにご相談ください。
4. 保証期間内で次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご提示がない場合
5. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

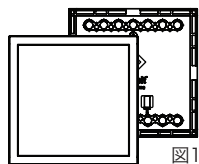
※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきますのでご了承ください。
 ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。
 ※保証規定は改定される場合がございます。最新の情報につきましては弊社ホームページをご覧ください。
 ※This warranty is valid only in Japan.

同梱品

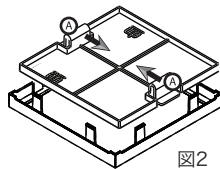


製品の説明はWebでも公開しています。
<http://www.j-force.net/>

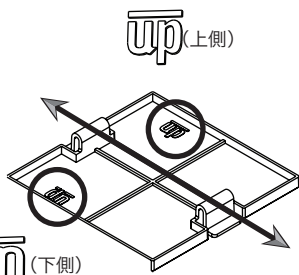
Step 1: フレームベースからゆっくりとフレーム（前面）を取り外します。（図1）無理やり引き抜くとフレーム（前面）にあるフックが破損する場合があります。



Step 2: フレーム（前面）裏側に取付けてある押さえプレートの図2のAの箇所を内側に押しながらフレーム（前面）から取り外します。

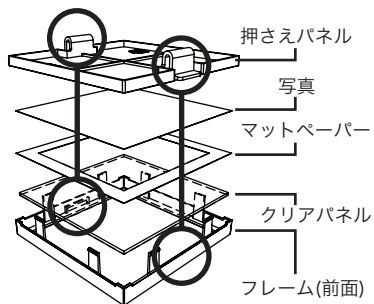


押さえプレートの向きについて
押さえプレートには上下、左右向きがあります。裏面にup（上側）とdn（下側）のマークが刻印されています。刻印には横線が入っており、横線が上側に来るようにしてください。



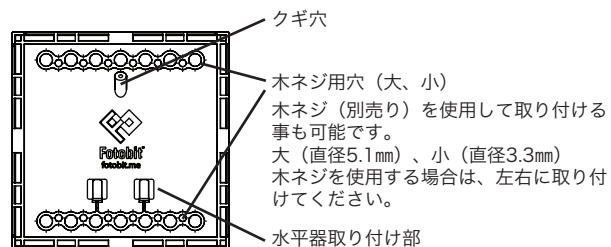
押さえプレートをフレーム（前面）に取り付ける際に確認し正しく取り付けてください。

Step 3: クリアパネルの両面から保護シートをはがし、フレーム（前面）に取り付けます。付属のマットペーパーをクリアパネルの上に置いてから写真を置き、押さえプレートの向きを確認して取り付けます。押さえプレート左右にあるクリップをフレーム（前面）に差し込みます。



押さえパネル取り付け部

フレームベース各部名称と役割

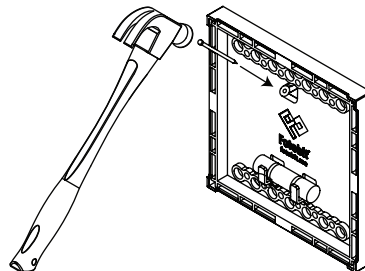


Step 4: 水平器をフレームベースの水平器取り付け部に取り付けてから、写真を飾りたい壁にフレームベースを当てます。水平器のちょうど中央に空気の泡が来るようにフレームの角度を調整し、付属のクギで壁にフレームベースを打ち付けます。

水平器の見かた



中央に空気の泡が来るように左右の高さを調整します。

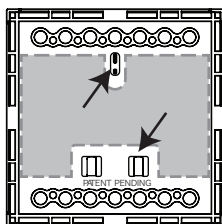


両面テープでの取り付けについて



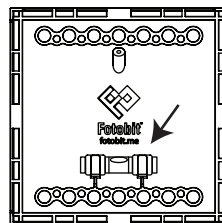
付属の両面テープは、クギを打ち付けることができない場所にFOTOBITを取り付ける場合に使用してください。両面テープは強力な粘着力です。取り外し時に壁紙も一緒に剥がれてしまう可能性があります。取り外し時は慎重に作業してください。

両面テープでの取り付ける場合



Step 1: 両面テープの剥離紙を剥がし、フレームベースの左図の位置に貼り付けます。

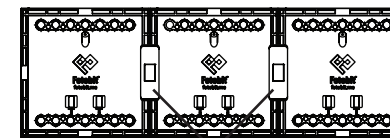
両面テープでの取り付ける場合



Step 2: Step1でフレームベースに貼り付けた両面テープの剥離紙を剥がし、水平器のちょうど中央に空気の泡が来るようにフレームの角度を調整しながら、写真を飾りたい壁にフレームベースを貼り付けます。壁に貼り付けた後、フレームを15秒以上壁に押し付け、しっかりと壁に接着されたことを確認した上でご使用ください。

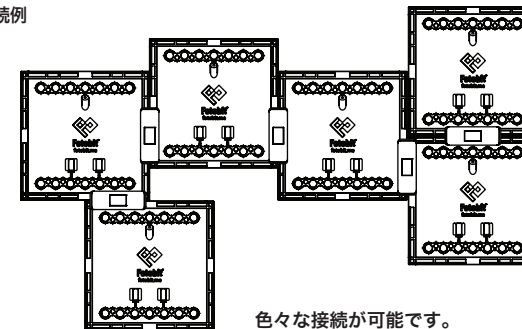
取り付けるすべての他のすべてのフレームも同様の方法で壁に貼り付けます。

Step 5: フレームベースをフレーム接続用クリップで接続します。フレームは中央から配置するように接続してください。全てのフレームをクギで固定しなくても固定することが可能ですが、より安定して壁に取り付けるため、端のフレームもクギで固定することをお勧めします。フレームの落下を防ぐため、フレームベースがきちんと固定されていることを定期的に確認してください。



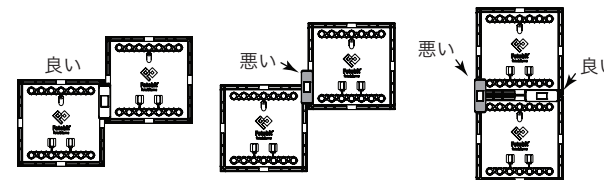
フレーム接続用クリップ

接続例

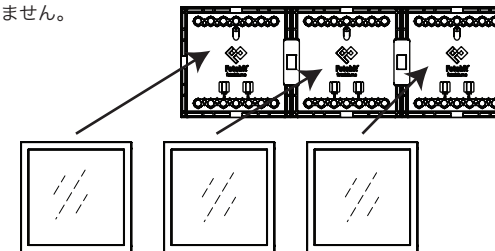


フレームの接続方法

フレーム接続用クリップはフレームベースからはみ出して使用しないでください。左右に接続する場合、フレーム接続用クリップは縦向きで、上下に接続する場合、フレーム接続用クリップは横向きで接続します。



Step 6: フレームベースの取り付けが終わったら、Step 3で作成した写真入りのフレーム（前面）をゆっくりとフレームベースに取り付けます。しっかりと奥まで押し付けて取り付けてください。フレーム接続用クリップが正しく接続されていない場合、フレームは入りません。



製品仕様	対応写真サイズ	89x89mm ※1	※1 L版の左右を切り取って使用可能です。
	マット紙窓サイズ	84x84 mm ※2	※2 L版ましかく(89x89)のフチが多少隠れます。
	本体サイズ	W111 x D24 x H111	※写真はフレームなしのものを推奨します。
	本体窓サイズ	W96 x H96	
	本体質量	100g	